自立活動の部屋　～かがやき★自立活動通信～

NO.５

令和７年３月２１日

埼玉県立草加かがやき特別支援学校　自立活動専任

進級、おめでとうございます。最終日お子様が評価を持って帰ります。また２月の個別面談では、１年間を振り返っての評価や課題が担任から伝えられたかと思います。現在の様子だけを見るとまだまだこれもできない、あれも…と思いがちですが、４月当初や夏休み前を思い出してみてください。落ち着いて教室にいられるようになった、教室移動がスムーズになった。新しい活動にも取り組めるようになった、などなどできることは確実に増えています。

今回の通信では各学部の教育目標を載せました。人との関係、コミュニケーションなど自立活動で目指しているものと関連があることがわかると思います。また、次の学年、学部での活動をイメージしていただけたら幸いです。

小学部低学年（１～３年生）

【学部教育目標】

・こころもからだも元気な子
・色々なことにチャレンジしようとがんばる子
・自分の地持ちや思いを伝えられる子
・友だちと仲良く楽しく活動する子

小１　夏祭り集会

この時期に初めて学校生活を送る子どもたちは、まず生活のリズムを整え日常生活の基礎を身につけることが大切です。親以外の大人、特に担任との信頼関係を築き、その担任との１対１の関係を基礎に周囲の人（友だち、他クラスの教員）や物に気づいていていきます。自分の思い（やりたい、やりたくない、もっとやりたい）を伝えることができるようなってきます。

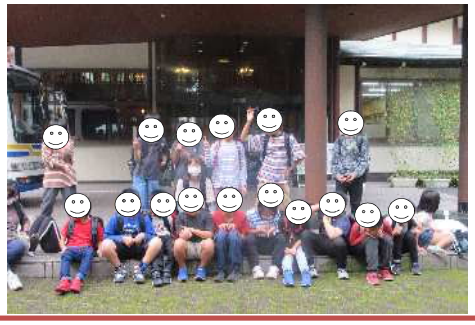
小学部高学年（４～６年生）

【学部教育目標】

・こころもからだも元気な子
・色々なことにチャレンジしようとがんばる子
・自分の気持ちや思いを伝えられる子
・友だちと仲良く楽しく活動する子

学部目標の文言は同じですが、高学年になると、友だちとの関係が広がってきて、コミュニケーション面では自分の気持ちを表すだけでなくそれを上手に伝えることがねらいとなってきます。友だちとのやりとりが広がることで気持ちのおりあいをつけられるようになってきます。

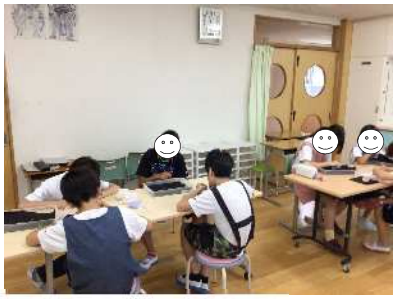
色々なことにチャレンジするという点では、学校行事でも宿泊学習が始まります。家庭を離れ、先生・友だちとお泊りすることは心身ともに大きく成長する機会でもあります。また宿泊を通して、友だちの範囲もクラスから学年団に広がっていきます。課題別の学習グループも４～６年生の縦割りグループで構成されます。



左　小5　宿泊学習
右　小６　修学旅行

中学部
【学部教育目標】
・基本的な生活習慣を確立し、意欲的に生活する生徒
・たくましく生きていくための、心と体を持った生徒
・友だちや教員とのやり取りを通して、自分の気持ちをよりよく表現できる生徒
・自他の役割を意識し、社会で生きていくための力を伸ばしていける生徒

思春期特有の心と身体の成長の中で、今までの自分とは違う不安と向うことが求められる時期です。これまで身につけてきた力を定着させ、それをさまざま場面で発揮していきます。
作業学習や総合的な学習の時間（かがやきタイム）では、１～３年の縦割りで活動し、より他学年の友だちとの交流が始まります。


作業学習（ビーズ班）

かがやきタイム（ウォーキンググループ）

高等部
【学部教育目標】
・自立した生活を目指し、仲間や地域社会と積極的に関われる生徒
・家庭生活や職業生活に必要な能力を高め、進路実現に向けて実践する生徒
・主体的に物事を考えて行動に責任を持つ生徒

実際的な活動（校内実習、現場実習、作業学習など）をとおして卒業後の生活に必要な能力を身につけ活用する時期です。「自立した生活を目指し」とありますが、これは何もかも一人でできるようになることではなく、「困ったときには助けを求める」「助ける求めるための支援先をつくる」ことなども含まれています。小～中で培ってきた先生や友だちとのコミュニケーション能力をさらに豊かにしていくことが必要になる時期です。

校内実習（仕分け班　紙袋班）

現場実習

＜できたことをお子さんと確認しましょう＞
頑張ったことをまず認め、たくさん誉めましょう。自己肯定感を高めることにもつながります。

＜次にどうしていくか、を伝える＞
面談では担任から次への課題も伝えられたと思います。お子さんと一緒に、どうするとうまくできるのか、その具体的な手立ても一緒に考えられるといいですね。

＜振り返りが難しい時には＞
お子さんによっては言葉での振り返りが難しい方もいます。その時には実際の行動を取り上げてできたときに「今のよかったね」「それでいいんだよ」という声かけで自分の活動の確認をするようにしましょう。

保護者の皆様、１年間自立活動の指導に関してご理解・ご協力をいただき ありがとうございました。